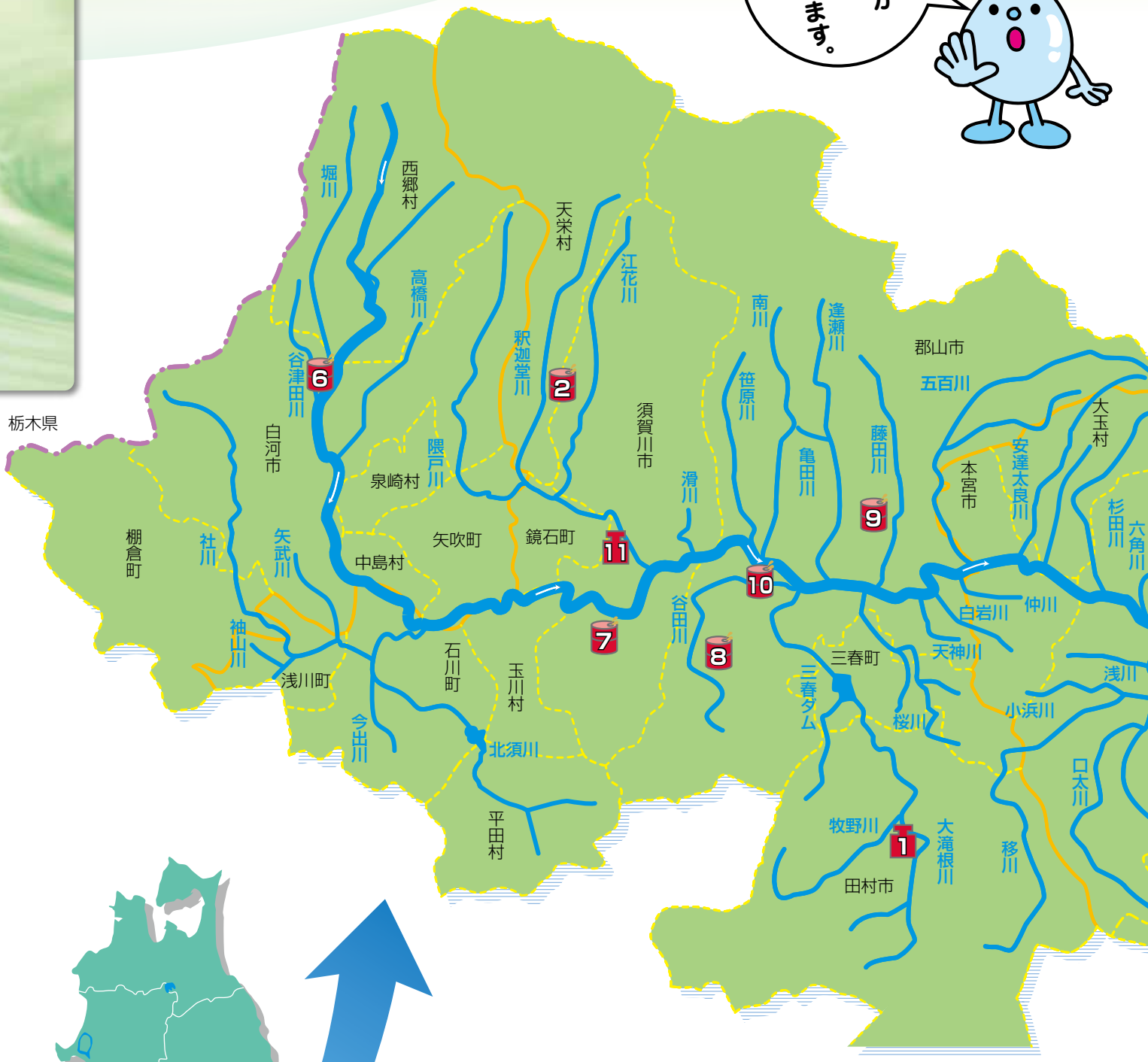
令和6年（2024）

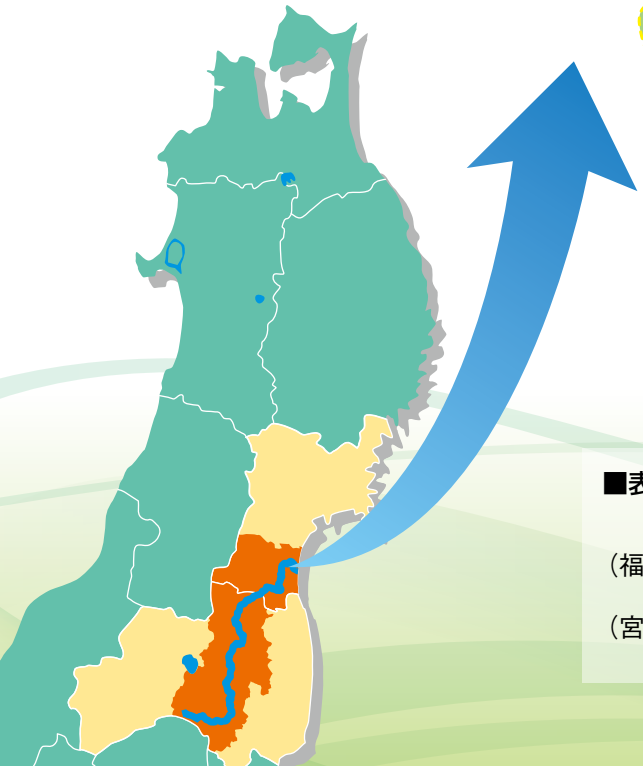
阿武隈川水系
水質事故発生マップ

忘れないでください、
その水が川から来ていること

阿武隈川水系水質汚濁対策連絡協議会

阿武隈川水系
水質事故発生マップ

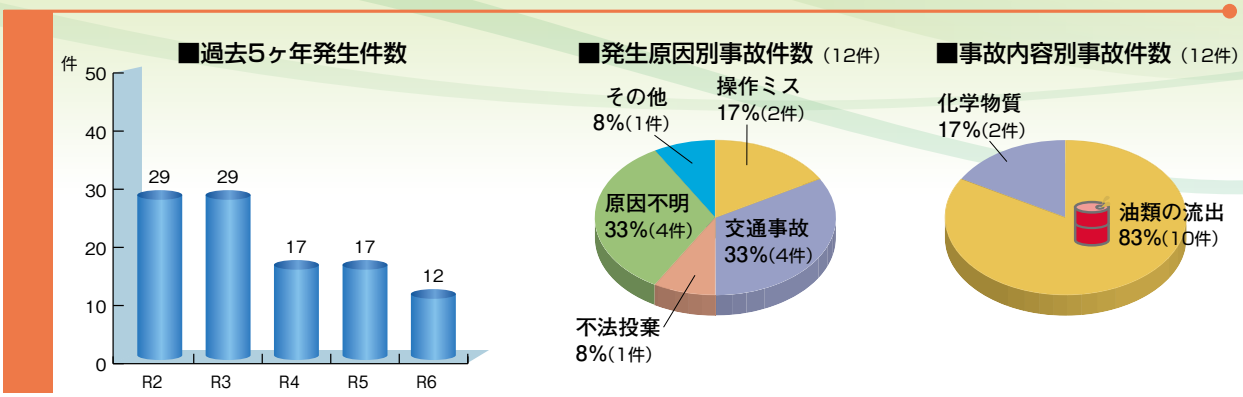




■表示の内容

	油類	排水・汚泥等	化学物質	不明	自然現象	
（福島県）	1	1	1	1	1	地図上の位置 河川名 発生市町村名
（宮城県）	1	1	1	1	1	

市町村界
地域界
県境
主な河川
及び川の流れ



阿武隈川水系水質汚濁対策連絡協議会とは…

本協議会は、水質調査や水質汚濁・河川環境の保全に関する資料及び情報の交換、水質事故等の緊急時の情報連絡、その他水質汚濁対策・河川環境保全の推進に必要な連絡調整を目的として昭和46年3月に設立されました。

構成機関は、国土交通省・経済産業省・福島県・宮城県・阿武隈川流域市町村及び消防本部で構成されています。

福島県

令和６年

事故発生河川及び事故内容

1 大滝根川に接続する水路（田村市）

① 化学物質
② 令和6年1月25日
③ 3月8日に郡山市荒井浄水場から、水源である三春ダム上流の大滝根川で六価クロムが検出されたとの報告あり。これを受け、福島県県中地方振興局が4月11日に大滝根川の4地点で採水した測定結果の報告あり。左記地内の事業所直下の排水路で1.3mg/L（環境基準0.02mg/L）が確認されたが、他地点では基準値以下であった。
この事業所では、1月下旬から融雪用の水として井戸水を使用していた。
4月12日に福島県から当該事業所に対して六価クロムが検出された井戸水は今後使用しないように指導。

2 笹平川（須賀川市）

① 油類
② 令和6年2月21日
③ 県道上に軽油が漏れていて、笹平川へ流出し合流する釈迦堂川へ流出したと福島県から国へ連絡あり。原因は不明。
福島県にて、笹平川と釈迦堂川の合流点にオイルフェンス・オイルマットを設置。また、県道の道路端にオイルマットを設置したもの。

3 上泉川（国見町）

① 油類
② 令和6年3月15日
③ 伊達郡国見町大字鳥取字堰下地内の上泉川に、県道からバックホウを積載した2tトラックが転落し、軽油が流出していると警察から消防本部を経由して国へ連絡あり。原因はスピードの出し過ぎと考えられる。
伊達地方消防組合消防本部で転落箇所から50m程下流へオイルフェンスと吸着マットを設置。
3月1日に消防本部で現地確認し、事故車両の撤去及び油膜等も確認されなかったため、オイルフェンス・オイルマットを撤去。

4 三百川に接続する水路（川俣町）

① 油類
② 令和6年5月20日
③ 伊達郡川俣町飯坂字下風早地内の県道で乗用車の単独事故が発生し、ギアオイルが付近の側溝に流出し、さらに側溝の合流先の三百川に流出したと伊達地方消防組合から国へ連絡あり。
消防組合で事故現場下流の側溝へ土のう・オイルマットを設置。また、県が三百川の広瀬川合流点上流にオイルフェンスを設置。
5月20日午後に消防組合が周辺に異常が無いことを確認し、土のう・オイルマットを撤去。また、5月21日に県が周辺に異常が無いことを確認し、オイルフェンスを撤去。

5 女神川に接続する水路（飯野町）

① 油類
② 令和6年6月3日
③ 6月3日に福島市飯野町大久保字境川付近で作業中の県北建設事務所発注工事の受注者が油流出を発見し、県経由で国に通報あり。
民家で住民が自宅の資機材等を小型バックホウで整理中、誤って機械油が入っていた一斗缶を破損し、民家敷地内の土壌に油が流出していたことが判明。雨により土壌に流出した油が浮き、付近の側溝へ流出し、さらに側溝合流先の女神川へ流出したと思われる。
県が女神川合流前の側溝にオイルマット、及び女神川の合流部にオイルフェンスを設置。6月18日に県が周辺に異常が無いことを確認し、オイルフェンス、オイルマットを撤去。

6 谷津田川（白河市）

① 油類
② 令和6年7月11日
③ 白河市巡り矢地内のゴミ集積場に油が入った缶の入った袋が投棄されており、そこから側溝等を経由して谷津田川に流出していたと地域住民から消防へ通報あり。
原因と思われるゴミ袋と周辺に拡散した油は、白河市にて回収済。

7 取上川（須賀川市）

① 油類
② 令和6年7月12日
③ 交通事故により破損した車両から機械油が付近へ流出し、側溝経由で取上川へ流出したと須賀川消防経由で国へ通報あり。
福島県で取上川へオイルフェンスを設置。県で阿武隈川本川に油膜が無いことを確認済み。

8 黒石川（田村町）

① 油類
② 令和6年8月13日
③ 地域住民から黒石川で油臭がすると郡山消防署に通報があった。
消防と郡山市が現場を確認し、油臭は確認したが降雨により河川の流速が速く、また夜間のため油膜や発生源は確認できなかった。
翌日、県及び市が現地調査を実施したが油膜・油臭は確認されず、発生源も特定できなかった。
国も直轄区間の巡視を実施し、異常が無いことを確認した。

9 藤田川（郡山市）

① 油類
② 令和6年9月10日
③ 藤田川の宮下橋付近で工事中の県工事受注者より、藤田川に流入する農業水路から油が流出していると県に通報あり。
市と県が現場を確認し、市法定外水路の河川ゲートの枡に軽油が滞留していることを確認。この時点で藤田川への流出は確認されなかった。
市が枡付近に吸着マットを設置。また、発生源の調査も実施したが特定できなかった。
農業水路への新たな油の流入は確認されず、藤田川への流入も確認されず、阿武隈川への流出も確認されなかった。

10 谷田川に接続する水路（田村町）

① 油類
② 令和6年11月6日
③ 11月6日に郡山市田村町下行合字田ノ保付近で作業中の県中建設事務所発注工事の受注者が油流出を発見し、県経由で国に通報あり。
谷田川左岸の石塚樋門付近に油膜が有り、谷田川へ流出していると連絡あり。郡山出張所で現地確認したところ阿武隈川本川でも油膜を確認。
県は石塚樋門の堤外水路にオイルフェンス及び吸着マットを設置。国は、阿武隈川の阿久津橋付近に滞留している油を吸着マットで回収。
郡山市で発生源を調査したが、特定できなかった。

11 釈迦堂川に接続する水路（須賀川市）

① 化学物質
② 令和6年12月23日
③ 須賀川市道でキレート剤運搬中のタンクローリーが横転しキレート剤が道路側溝に流出した。
原因者が、側溝に土のうを設置し釈迦堂川への流出を防止するとともに、キレート剤の回収を実施。
国、県、市で現地調査を実施し魚類のへい死が無いことを確認。

■表示の内容

（福島県）油類 1 / 排水・汚泥等 1 / 化学物質 1 / 不明 1 / 自然現象 1

①……水質事故の種類
②……発生年月日
③……水質事故の概要

宮城県 令和6年 事故発生河川及び事故内容

1 中島川（角田市）

① 油類
② 令和6年10月1日
③ 廃棄物収集運搬業者の敷地内より灯油が流出し、側溝を通じて河川へ流出。角田市でオイルフェンス及び吸着マットを設置。

■表示の内容

（宮城県）油類 1 / 排水・汚泥等 1 / 化学物質 1 / 不明 1 / 自然現象 1

①……水質事故の種類
②……発生年月日
③……水質事故の概要

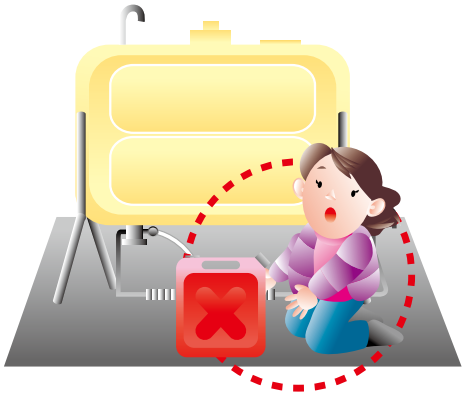
タンクからの
油流出事故にご注意!

一般家庭のホームタンクや事業所のタンクから灯油などの油類が漏れ出し、河川などに流出する事故が増えています。その多くは、うっかりミスや故障などが原因です。給油中は目を離さず、また配管などの定期点検に努めましょう。

ご家庭のホームタンクは大丈夫?

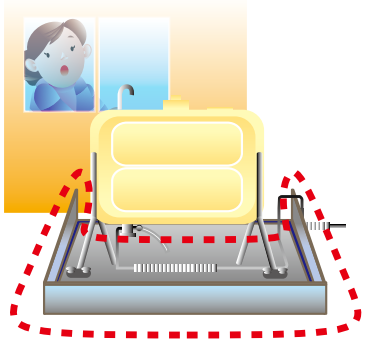
流出事故を防ぐための心掛け

①その場を離れない

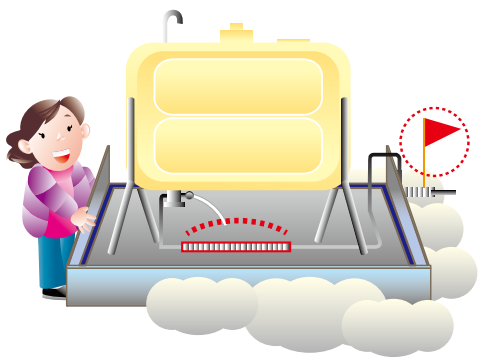


②定期点検を怠らない

③防油堤設置で安心



④配管場所には目印を



ホームタンクからの
油流出事故にご注意!

油の流出などの水質事故により設置したオイルフェンスや油吸着マットなどの設置経費は、原因者の負担となります。

水質事故とは

川に油や化学薬品などが流れ出ると、水が臭くなったり、魚が死んだり、水が使えなくなったりします。また油の量が多いと火災のおそれもあります。

水質事故の傾向

事業所では施設の劣化、保管状況の点検不備、機械類の操作ミスによる油等の流出があります。一般家庭では暖房用灯油ホームタンクの栓の閉め忘れや、交通事故等を原因として水質事故が発生しています。
不注意から水質事故になることが多いので、日頃の点検や作業手順の確認をして水質事故を防ぎましょう。

発生もしくは
発見したら

水質事故

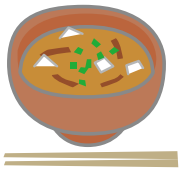
直ちに仙台河川国道事務所・福島河川国道事務所や宮城県(土木事務所)・福島県(地方振興局)・市町村・消防署・警察署へご連絡ください。

川へのやさしさは、人へのやさしさです。

あなたの捨てた水を、下流の人々が利用しています。

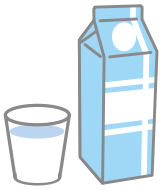
あなたは、汚していませんか？ 大切な水を…。

暮らしの中で出される「生活排水」を、魚の棲める
きれいな水にするためには、これだけの水が必要です。
あなたは、自然に大きな負荷をかけていませんか。



味噌汁
（200mℓ）
1,500ℓ必要
（浴槽5杯分）

お米のとぎ汁
（約2ℓ）
1,200ℓ必要
（浴槽4杯分）



牛　乳
（200mℓ）
3,000ℓ必要
（浴槽10杯分）

日本酒
（1合・180mℓ）
7,200ℓ必要
（浴槽24杯分）

そして
使用済み天ぷら油
（500mℓ）
99,000ℓ必要
（浴槽330杯分）

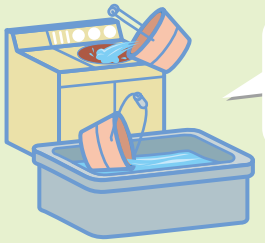
私たちは、知らない間に川を汚しています。家庭から出る生活排水は、汚水処理施設（下水道・集落排水・合併浄化槽）へ流しましょう。

料理に使った揚げ油を流すのは、汚染の原因です。
油を分解するためには、
大量の水と時間が必要です。

対策　油はグル状に固め、ゴミと一緒に捨てましょう。

味噌汁、米のとぎ汁も汚染の原因です。
あたりまえのように、排水口に捨てていませんか？

対策　食べ残しをしないよう心がけましょう。
また、無洗米を使うと、とぎ汁が出ません。



節水のため、お風呂の残り湯を使いましょう。
お湯で洗うと洗浄力もアップします。また、
洗剤はリンを含まないものを使いましょう。

ポイント　汚れていないお湯は、捨てずに沸かして2度使いましょう。

排水口に古いストッキング、細かいゴミも取り除きます。
ちょっとの工夫が、美しい水環境を守ります。

ポイント　下水に流れ込んだゴミは、ネズミ等の発生を促す原因となり、家庭環境への影響も懸念されます。

令和６年度 児童図画コンクール

図画部門 特選

上流部
［福島市］髙橋　縁さん

下流部
［岩沼市］星　千都華さん

ポスター部門 特選

上流部
［田村市］石井　尊さん

下流部
［岩沼市］山田悠翔さん

阿武隈川水系水質汚濁対策連絡協議会

上流支局事務局

国土交通省　東北地方整備局　福島河川国道事務所
〒960-8584　福島県福島市黒岩字榎平36
TEL（024）546-4331

下流支局事務局

国土交通省　東北地方整備局　仙台河川国道事務所
〒982-8566　宮城県仙台市太白区あすと長町四丁目1-60
TEL（022）248-4131